

前回いただいたご意見に関する現在の状況（西部第4区連合町会）

○国内外から青森市を訪れる観光客への接し方やマナー等を教えてもらいたい。

令和元年11月20日に行われた「青森市観光ボランティア交流会」では、簡単な英語フレーズの紹介や高校生のおもてなし活動などを紹介し、観光ボランティアや市内高校生など37人が参加しました。

現在は、「青森市観光おもてなしセミナー」として実施しており、令和5年度は、59人が参加しました。

また、市内の町内会・学校等への国際交流員の派遣も継続しており、海外の文化や簡単な会話を学んでもらっています。



青森市観光おもてなしセミナー開催写真

○夜間に災害が発生した場合でも避難所を開設できる体制を作ってほしい。

令和2年度に小学校や市民センター等の指定緊急避難所60か所の周辺に住む市職員3名を、避難所配置職員として指名しました。

令和3年度には、避難場所に当該施設の鍵を保管するキーボックスを設置し、災害発生時において直ちに建物内に緊急避難する必要がある場合には、施設管理者等の到着を待たずに避難することができます。



令和4年8月の大雨災害時に避難所となった
横内市民センターの避難所配置職員

○地震が起きた際に、避難所配置職員が自主参集し、避難所を開設するまでの所要時間について聞きたい。

震度6弱以上の地震が発生した場合には、避難所配置職員が各避難所に自主参集することとしており、避難所の受付開始までに要する時間は、概ね1時間程度を想定しております。災害状況や被害状況等にもよりますが、可能な限り迅速に開設していきます。

令和2年度から毎年9月に実施している青森市総合防災訓練において、避難所配置職員による各避難所への自主参集訓練を実施しています。

また、毎年5月には、避難所配置職員に対して研修会を実施し、平時から避難所開設のための事前学習も実施しています。



毎年実施している
避難所配置職員研修会の模様